

愛の家だより

令和8年
5月号

知的障害者総合福祉施設 愛の家
発行責任者 渡會 幸喜
編集責任者 森口 威

想いを伝えさせていただきました

民生委員さんとの情報交換会より

① 交流のあり方について

3月に、民生委員の皆さまと「愛の家」との今後の交流のあり方について話し合いを行いました。これまで毎年11月には、民生委員主催によるバーベキュー大会を開催、利用者・職員との交流を深めてきました。



愛の家の歴史を説明しました

② 愛の家の方針について発信する機会へ
そこで、「愛の家」が大切にしている方針や想いについてお伝えしたところ、愛の家の歴史や設立の趣旨についても聞いてみたい」とのお声をいただき、5月に説明の機会をいただくこととなりました。

話し合いの中では、「皆さんが楽しみにされているのはわかりますが、お肉を焼いて食べることが中心となり、関われる利用者が限られている面もあるため、それ以外での交流の形も考えてみてはどうかといったご意見をいただきました。

③ 愛の家の想い・支援について紹介

愛の家では、障がいのある方一人ひとりが自分らしく安心して生活できるよう支援を行っています。

私たちは利用者の方を一人の大切な存在として考え、その人らしい生活や思いを大切に支援しています。

また、「できないことをすべて支援する」のではなく、本人ができることや得意なことを大切にしながら、自分で選ぶことを、自分で決めることを支援しています。利用者



新作業棟を見ていただきました！



これからも地域との交流の拠点としていきます！



の方の中には自分の思いをうまく伝えることが難しい方、環境の変化に不安を感じやすい方もおられます。

そのため職員は日々の関わりの中で表情や様子の変化を大切にしながら、今後安心して過ごせる関係作りを心がけていきます。

民生委員の皆さま、ありがとうございました。

施設長 渡會 幸喜

◆先月、愛の家全体研修会で「ハラスメント研修」を行いました。研修では、ハラスメントに関する実態調査の集計結果をもとに、ハラスメントの種類やその影響や予防について学びました。
◆特に印象に残ったのが、「ハラスメントクイズ」です。10問の事例を通して、「これはハラスメントにあたるのか」をみなさんに考えていただき、理由も発表していただきました。その中で多く聞かれたのが、「信頼関係があるかどうかで受け取り方は変わる」「同じ言葉でも、言い方や表情、しぐさによって感じ方が違う」という意見でした。
◆何気ない言葉でも、相手によって受け止め方は変わります。だからこそ、相手の気持ちを考え、お互いを尊重し合うことの大切さを改めて感じました。(渡會)

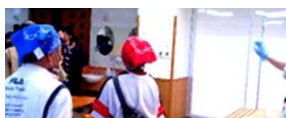
かがやき喫茶は雰囲気大切にしています！



喫茶店っぽくしています！



おかわりもできます！



帰る時も笑顔でお見送り！

2カ月に1回、愛の家にてかがやき利用者さんを対象に工房みさき主催の「かがやき喫茶」を実施しています。

飲み物は3種類をご用意し、その中からご本人に好きなものを選んでいただき、ご自由におかわりもできます。

「どれにしようかな」と悩みながら選ばれる姿や指差しで教えてください、「今日はこれ！」と嬉しそうに決める姿が見られ、それぞれの“自分で選ぶ楽しさ”に繋がっています。

工房みさきの利用者さんにとっても、販売や接客を通して経験を積む機会となっており、お互いに良い刺激を受けながら交流できる大切な取り組みとなっています。今後も楽しい喫茶の時間を作っていきたいと思えます。

工房みさき 川崎 由佳子

6月・7月の予定

＜6月の予定＞

- 6月 1日（月）サービス向上委員会
- 6月 25日（木）工賃支払日
- 6月 26日（金）帰宅日
- 6月 28日（日）帰所日
- 6月 29日（月）サービス向上委員会

＜7月の予定＞

- 7月 14日（火）工房みさき保護者会
- 7月 18日（土）NTT西日本大阪吹奏楽団コンサート
- 7月 24日（金）帰宅日・工賃支払日
- 7月 26日（日）帰所日
- 7月 27日（月）保護者会役員会・サービス向上委員会

現在、愛の家では帰宅制限をおこなっていませんが、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症まん延防止のため、帰宅中も手洗い・うがいなどの基本的な感染対策のご協力をお願いいたします。

今年も玄関ホールに飾らせていただきました！



愛の家の皆さまが元気に過ごせますように！

5月にボランティアに来てくださった方

**児童部にて学習支援をしていただいた
学生ボランティアの方**

工房みさきにて日中活動支援をしてくださった方

ありがとうございました。